酒石酸

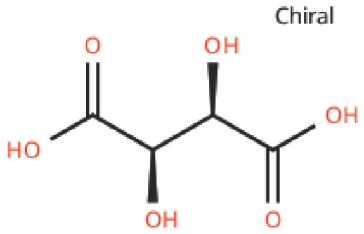
Tartaric Acid



食品の酸味付与やpH調整剤として使用され、海外では
ワインの味の調整として使用される物質です。
工業用途では金属の錆取剤や、セメント遅延剤として使用されます。

商品について

L-酒石酸
分子式：$C_4H_6O_6$
分子量：150.09
溶解度：1,390 g/L(20℃)
pH：1.6 (100g/L)
荷姿：25kgBIB



酒石酸が含まれる食品

酒石酸は下記の食品に含まれます。



ぶどう　皮つき　0.4g/100g

※日本食品標準成分表（八訂）増補2023年より

酒石酸の用途

用途
酒石酸は以下の用途で使用されます。
・飲料、菓子・スイーツ、フルーツ加工品等の酸味付与
・様々な食品のpH調整剤

食品に酒石酸を使用した場合の表示例

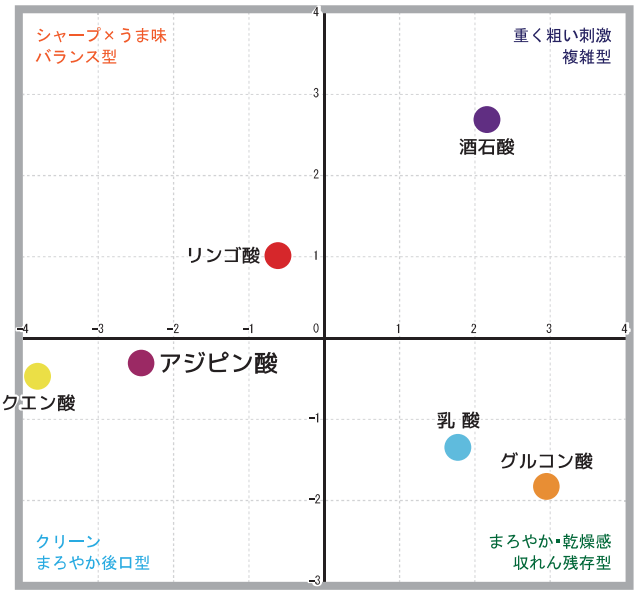
食品に使用する場合の表示例
「酸味料」、「水素イオン濃度調整剤(pH調整剤)」、
「膨張剤(膨脹剤、ベーキングパウダー、ふくらし粉)」、
又は物質名「酒石酸」

三洋ライフマテリアルの有機酸

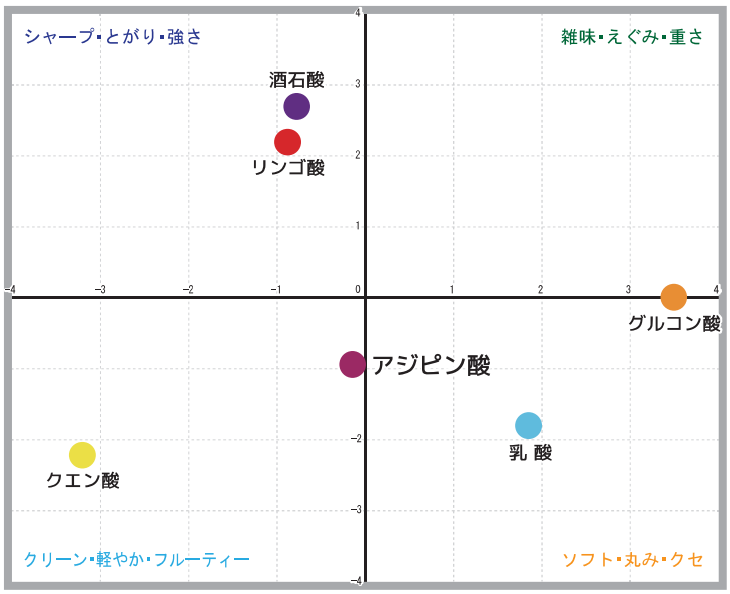
酸味だけではない、有機酸の個性

専門家パネルが「酸味以外の呈味・口中感覚を評価。酸ごとに異なる味わいの広がりを明らかにしました。

《 呈味プロファイルのポジショニング 》



《 印象語のポジショニング 》



官能評価（50mM 水溶液）｜専門家パネル6名｜分析：味香り研究所

各酸の「酸味以外」の特徴

アジピン酸
ニュートラル型

雑味（えぐみ・乾燥感・金属味）が最低でクリーン。塩味・うま味のセイボリー感とやや長い後味を持ち、突出する印象語がない＝風味を乗せる下地。

クエン酸
クリーン短キレ型

後味を残さずすっきり切れる（残存感・複雑さが最小）。印象語はクリーンが全員一致、フルーティーは選択数4人/6人で6種中最多。澄んだ単純な酸。

グルコン酸
ソフト収れん型

塩味・うま味・苦味はなく、口当たりはソフト。乾燥感と収れん感が口中に長く残る二面性を持つ。

リンゴ酸
うま味+微雑味型

うま味感がある一方、金属味・えぐみもやや伴う。シャープさは強めの中庸タイプ。

酒石酸
重く荒い複雑型

苦味・えぐみ・収れん・複雑さがいずれも最上位。際立って低い項目がなく、強く粗い。

乳酸
ソフト+強い後味型

先味は柔らかいが渋味・収れん・後味が強く長い。

味わいの特徴から選ぶ、三洋ライフマテリアルの有機酸

	酸味の強さ	うま味様	収れん感
Adipic Acid アジピン酸（ニュートラル型）	★★☆☆☆	★★★★★	★★☆☆☆
Citric Acid クエン酸（クリーン短キレ型）	★★★★★	★★★☆☆	★☆☆☆☆
Gluconic Acid グルコン酸（ソフト収れん型）	★☆☆☆☆	★☆☆☆☆	★★★★☆
Malic Acid リンゴ酸（うま味様＋微雑味型）	★★★★☆	★★★★★	★★★☆☆
Tartaric Acid 酒石酸（重く粗い複雑型）	★★★★★	★★☆☆☆	★★★★★
Lactic Acid 乳 酸（ソフト＋強い後味型）	★★☆☆☆	★★★☆☆	★★★★★

★は 6 酸間の相対比較（各項目の最小～最大を 1 ～5 で表示）

アジピン酸以外の有機酸についても、お気軽にご相談ください

Sanyo Trading Group
三洋ライフマテリアル株式会社

フードサイエンス事業部
TEL.03-3518-2192

〒101-0052　東京都千代田区神田小川町 2-2 センタークレストビル 8F
https://sanyo-lifematerial.co.jp/

お問い合わせ
フォームはこちら